

- 高等学校等における ICTの活用促進
- 学校種間連携の強化
- 英語担当教師及び小学校教師の指導力・英語力の向上

## 当該地域における英語教育の課題

### 授業の質の向上

授業の半分以上を生徒の英語による言語活動を行う教員の割合について	中66.0% (74.5%)
県の目標値 (100%) を達成していない。	高49.9% (52.9%)
授業における半分以上の発話を英語で行っている教員の割合について	中69.6% (74.4%)
県の目標値 (100%) を達成していない。	高52.7% (46.1%)

【出典】令和4年度英語教育実施状況調査 本県 (全国平均)

生徒の英語による言語活動の割合が目標を達成できていない。言語活動の割合が低い原因として、読解中心の授業内容や文法指導に時間の多くを費やしている可能性がある。特に「話すこと」の指導については、一人一人の生徒を教員が見取るには時間を要すことやALTが来た時のみ話す活動を入れるようにしている等の理由により、授業改善が遅れている。言語活動の充実が遅れていることに関連し、教員が英語で授業を行っている割合も低く、目標値を達成できていない。

## <実施内容>

### ◆ AI英会話学習支援システムを活用した「話すこと」の力を高める実証研究【高】

県立高校1年生120名を対象に家庭学習としてAIとの英会話に取り組ませた。学級ごとにAI英会話を行う期間を約1か月と設定し、その期間に8回のAI英会話を実施した。生徒には英会話後に毎回アンケートに回答してもらうことで、学習意欲の変化等について調査した。



生徒がAIと会話をしている様子 (県教委撮影)

週に1回生徒のAI英会話の結果を教員に提供し、生徒の変容と合わせて授業改善が進んだか聞き取りを行った結果、一部の生徒では授業に対する姿勢や意欲に向上が見られた。

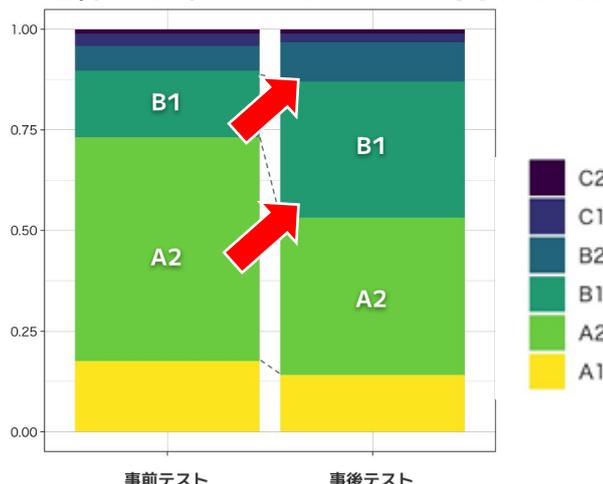
### ◆ パフォーマンステストに係る県独自問題作成ワーキンググループ【小中高】

中学校・高等学校向けにCEFR A1、A2のレベルに合わせた問題を作成。小学校向けにはどの教科書でも使用できる難易度に合わせたパフォーマンステストを作成。県のホームページに掲載した。

## <成果指標に基づく成果及び検証>

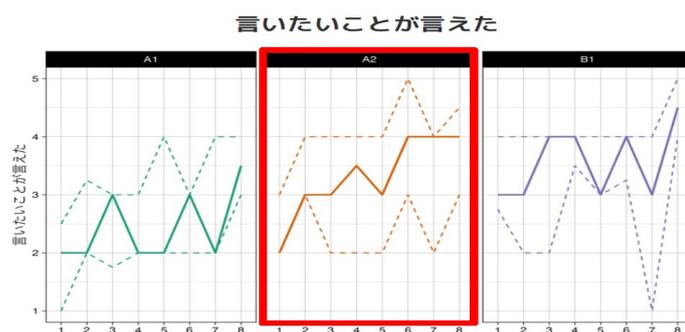
### ◆ AI英会話学習支援システムの成果

AI英会話学習支援システムを活用した生徒は、約1か月の期間で話す力において向上が見られ、この変化には有意性が確認できた。生徒も英語を話す経験が増え、授業において積極的に英語で表現しようとする意欲が高まった。ただし、この変化がAIのみの成果なのか他の要素との複合的なものなのかは断言できなかったため引き続き検証する。



生徒のアンケート分析では、「言いたいことが言えるようになった」の項目が伸びており、AIを活用したことでの効果があった。また、「AIとの英会話の内容が数値化できるからよい」「家でもネイティブと英会話できるからよい」という意見もあった。このような結果から、生徒の学習意欲の向上に十分効果があると考えられる。また、教員のアンケートからは授業改善に活用するためには、授業内容との共通点があるとよい、との意見が挙げられた。

レベル別の意欲・関心面の推移



引用：株式会社エキュメノポリス報告資料より

### ◆ AI英会話学習支援システムを活用した授業改善に関する成果

AI英会話の結果や生徒の変容について、授業改善にどのように生かしたのかをアンケート調査した結果として、

- (1) 生徒のアンケートやAI英会話の結果、話す力が高まった生徒が増えたことを踏まえ、言語活動の時間を増やしたり、内容を深める発展的な活動に取り組ませるなどの授業改善が行われた。
- (2) AI英会話の結果から、個々の生徒の英語力を把握することで、個別指導がより可能になった。
- (3) 生徒とALTとの英語でのやりとりがよりスムーズになった。

という回答があり、授業の改善に生かしたり、生徒の変容を見取ることができた。

### ◆ パフォーマンステストの成果

令和5年度は、小中高のすべての校種で新しい問題を作成し問題数を増やした。作成に際しては、様々な単元に対応するとともに、使用している教科書に関わらず表現や語彙を整理するよう工夫した。指導主事が学校訪問した際に、パフォーマンステストの取組状況を聞き取り、改善が必要な学校には、取り組み方や事例集の紹介を行ったことで教員の意識が高まった。

## <今後の方向性>

### ◆ AI英会話学習支援システムの課題について

各種研修及びAI英会話学習支援システムの効果について研究を通して生徒の英語力向上に引き続き取り組んでいく。AI英会話の効果をより統計的有意性を持たせて検証するために、令和5年度の結果を活用し、検証校を増やしてその効果を調査研究していく。

### ◆ AI英会話学習支援システムを活用した授業改善に対する課題について

AI英会話学習支援システムから得られた生徒の英語力の判定を用いて、伸ばしたい生徒の力を把握し、そのために効果的な言語活動の設定や指導の充実を図るようにすることで、AI英会話との連携を進め、授業改善につなげていく。県教育委員会指導主事は、教員と連携してより効果的な指導ができるように指導助言を行っていく。

## 成果普及

- ▶ AI英会話学習支援システムにおける「話すこと」の力を高める実証研究成果資料（令和5年度分）  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/cate/kbs/kyouiku/gakkou/gaikokugokyoku/index.html>
- ▶ パフォーマンステスト  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gaikokugokyoku/performance.html>
- ▶ 小中高連携モデル事業 研究成果  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gaikokugokyoku/shouchuukou.html>